

八戸工業高等専門学校
令和6年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
(応用基礎レベル) 自己点検・評価

会議名称：自己点検部会

開催場所：八戸工業高等専門学校

参加者：自己点検部会委員

目的：数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）の自己点検・評価

自己点検・評価の視点	内部評価	評価理由
本プログラムの履修・修得状況、学修成果を確認すること	A	対象科目は全学生が履修し、令和6年度は98.8%の修得状況である。
学生による授業アンケート、学生自身の達成度評価により、学生の理解度を確認すること	A	授業アンケートより学生自身の理解度は5段階評価で平均4.71と高い評価である。
履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認すること	A	対象科目は全学生が履修している。
本プログラム修了者の進路・活躍の状況に関すること	—	本プログラムの修了者がいないため評価できない。
企業等の評価に関すること	—	前回の卒業生アンケートでは同年代と比べ知識や技術力は「高い・少し高い」37%、「同程度」41%、「低い・少し低い」23%の結果であった。将来のプログラム修了生との比較データとする予定である。また企業・団体等からの評価は、令和8年度に実施予定である。

評価基準 A：十分満足している B：満足している C：改善を要する